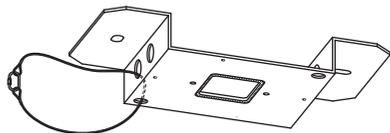


保管用

# Panasonic®



## 取扱説明書

### 施工説明付き

## PiPit+ セパレートセルコン（直付）用

## 専用取付金具

品番：NK23060

・器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

**工事店様へ** 正しく施工するために必ずお読みください。  
施工後、必ずお客様に商品説明をしていただき、本書をお渡しください。

**お客様へ** このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。  
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

### 安全上のご注意

必ずお守りください

## 警告

- 施工は、取付方法にしたがい確実にを行う。  
施工に不備があると落下の原因となります。
- 器具の改造は行わない。  
落下の原因となります。
- 一般屋内用器具です。直接雨・風の当たる場所や湿気のある場所、振動や衝撃の多い場所、粉じんや腐食性ガスの発生する場所等では使用しないでください。感電・落下・火災の原因となります。
- 適合以外の器具と組み合わせて使用しないでください。  
落下の原因となります。
- 質量に耐える所に確実に取り付ける。  
落下の原因となります。
- この器具は天井面直付器具です。壁面取付・補強のない天井面への取り付け・据え置き取り付けはしないでください。発火・感電・落下の原因となります。

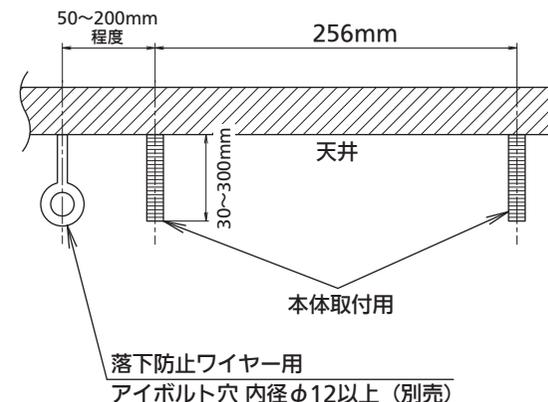
## 注意

- コントローラの使用温度範囲を守って使用してください。  
指定外周囲温度での使用はコントローラの短寿命の原因となります。
- 本器を取り扱う際には手袋などの保護具を使用してください。けがのおそれがあります。
- ボールが直接当たる環境では、必ず専用防球ガードと合わせて使用してください。  
落下の原因となります。
- お手入れの際は、必ず電源を切って、器具が十分冷えてから行ってください。

## 仕様

サイズ	縦190mm×横326mm×高さ50mm	
重量	1.0kg	
使用温度範囲	コントローラの使用温度範囲を守って使用してください。	
取付方法とピッチ	M10のボルト2本 256mm間隔	
適合器具 (別売)	PiPit+セパ（直付）	（高天井対応）NQ23185K
	通信補助器（直付）	NK23081
	専用防球ガード	NK23062
付属部品	取扱説明書/施工説明書（本書） 1部 落下防止ワイヤー（600mm） 1本 M4ネジ×2個 ※M10のボルト・ナットは同梱していません。	

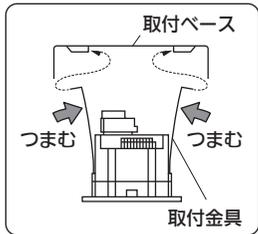
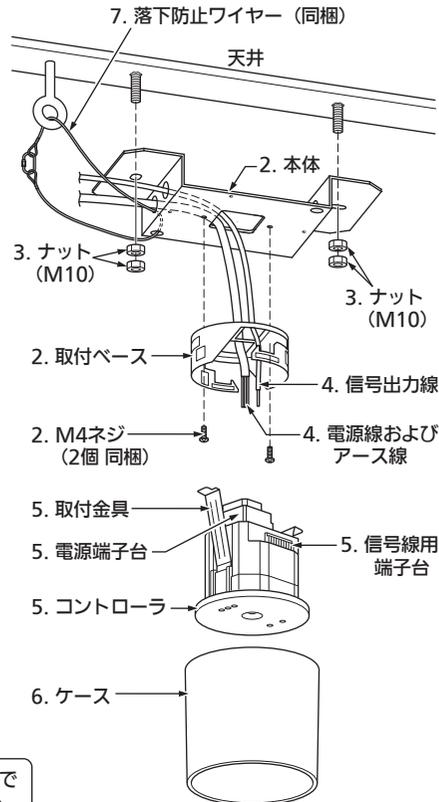
## 取付ボルト 配置図



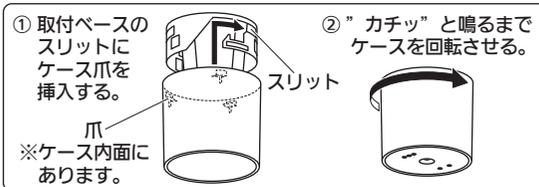
天井より、本体取付用のM10のボルトを2本出してください。  
また、落下防止ワイヤーが天井の梁を一周できない場合は、落下防止ワイヤーを通すためのボルトを出してください。

## 各部の名前と取り付けかた

1. 取付ベースをケース、コントローラから取り外す。  
出荷時は、取付ベースとコントローラは取付金具で  
嵌合してあります。
2. 本体にコントローラ（PiPit+セパまたは通信補助器）  
の取付ベースを取り付けます。付属のM4ネジを  
使用してください。（締付トルク：0.8N・m）
3. 本体を天井に取り付けます。  
指定サイズの取付ボルトを使用し、緩みのないよう  
ナットおよび周り止めで確実に固定してください。  
あらかじめ天井からM10のボルトを吊り下げて  
おいてください。（付属していません）
4. 電源線（信号線）を各穴から引き込んでおいて  
ください。  
電源線は保護のため、ブッシングのある穴から  
引き入れてください。
5. コントローラに電源線（信号線）を接続し、取付  
ベースに、取付金具（パネ）で取り付けてください。



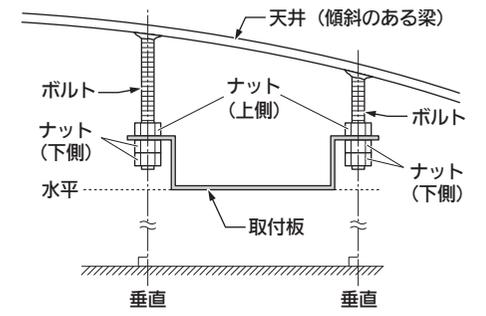
6. ケースを取付ベースに取り付けてください。



7. 落下防止ワイヤーを、本体のワイヤー用の穴と電源線または  
信号線の穴、天井の梁を一周してロックしてください。  
天井の梁を一周できない場合は、あらかじめワイヤーが通せる穴の  
開いたボルトを吊り下げておいてください。（付属していません）
8. 施工完了  
設定方法はコントローラ（PiPit+セパまたは通信補助器）付属の取扱説明書をご参照ください。

### 〈傾斜のある梁に取り付ける場合〉

- ボルトは必ず垂直に吊り下げてください。
- ボルト長さを調節し、取付板を水平に  
取り付けてください。



## 安全点検について

下記の「安全チェックシート」の項目についてコントローラと合わせて確認し、該当する場合は  
点検結果に○を記入してください。

安全点検項目		区分	点検結果
使用状況・環境	使用期間は、10年以上である。	B	
	使用期間は、15年以上である。	A	
	累積使用時間は、40,000時間以上である。	A	
	器具の使用温度が高い。	B	
	電源電圧が高い、または低い。（定格の106%以上、94%以下）	B	
	分岐回路の絶縁抵抗は、0.2MΩ以下（200V）または0.1MΩ以下（100V）である。	A	
	取付部に常時振動が加わっている。	B	
	使用場所に水気・湿気が多い。	B	
	使用場所に腐食性ガス（温泉・塩害を含む）、じんあいが多い。	B	
	本体・パネルなどが手で触れないくらい熱くなる。（60℃以上）	A	
	本体・パネルなどに変形・ひび割れなどがある。	A	
	めっき面などに、ふくれ・剥離などがある。またはさびがでている。	B	
	焦げ臭いにおいがする。	A	
	可動部分（電源スイッチ・ボリュームなど）の動きが鈍い。	B	
	電線に著しい変色・ひび割れなどがある。	A	
電線接続部（端子台など）が接触不良（緩み、抜けなど）を起こしている。	A		

### 【点検結果の判定】

- ・ 区分Aの○印が1個でもあれば、調査した器具は劣化状態が相当進行し、危険な状態に至っている  
ことがあります。速やかに交換してください。
- ・ 区分Bの○印が1個でもあれば、調査した器具は劣化状態が進行していることがあります。  
交換または継続的に点検してください。  
上記項目以外でも不具合があれば、工事店などの専門家にご相談ください。